

測量計算・電子野帳 (TS)

A-SurveyAd

Android

エース プロジェクト

2025/11

Ver 5.0.7 にて追加された機能です。

- ・シフト量測定を変更

1、シフト量測定を変更

「GPS 条件」で、シフト量が有効の場合にシフト量測定を行うと、シフト量は元のシフト量に累積された結果となります。

今回から、シフト量が無効(チェック無)の場合は、シフト量測定結果は、今回のみの計測値となります。

(チェック有で、DX,DY,DH を 0.000 としてシフト量測定するのと、同じ結果になります。)

—— シフト量を有効にするかどうかマルチボタンにもあります。

シフト量測定の説明書は、
A-SurveyAd_357.pdf
A-SurveyAd_358.pdf
A-SurveyAd_362.pdf

をご覧ください。

A-SurveyAdB

シフト量測定（新規） 25/11/22 8:18:12.00～8:18:19.00

<NMEA標準(GGA)[楕円]>

前のシフト量(参考値で、測定結果には未使用)

D X = 1.000 D Y = 2.000

D H = 3.000

点名：1

X = -394712.003 Y = -428756.572

H = 54.556

測定座標

X = -394712.000 Y = -428756.570

H = 54.559

結果シフト量

D X = -0.003 D Y = -0.002

D H = -0.003

【 RTK FIX 】

シフト量測定（累積） 25/11/22 8:18:18.00～8:22:01.00

<NMEA標準(GGA)[楕円]>

前のシフト量(測定に使用)

D X = -0.003 D Y = -0.002

D H = -0.003

点名：1

X = -394712.003 Y = -428756.572

H = 54.556

測定座標

X = -394712.001 Y = -428756.551

H = 54.534

結果シフト量

D X = -0.005 D Y = -0.022

D H = 0.019

【 RTK FIX 】

戻る

進む

25_11_22

閉じる

記録簿には、
シフト量測定（新規）と
シフト量測定（累積）
の表示としました。
また、
前のシフト量(参考値で、測定結果には
未使用)
前のシフト量(測定に使用)
と記録しました。